

令和4年度 山形県立博物館プライム企画展
女神たちの饗宴—「縄文の女神」国宝指定10周年—

記念講演会②

土偶「縄文の女神」が、国宝に指定されてから10周年を迎えます。縄文時代の人びとのくらしや土偶に込めた思いについて、様々な分野の専門家をお招きし、分かりやすくご講演いただきます。

令和4年

11月6日 日 13:30-15:30

会場：山形県立博物館 講堂

講演会に参加される方は、入館料が必要です。

演題・講師

西ノ前型土偶の出現と展開 —「縄文の女神の秘密」—

講師：阿部 明彦 氏（山形考古学会会長）

講座の内容

西ノ前遺跡から出土した大型土偶は体高45cmという日本一の長身で、その洗練された姿形は「土偶造形の到達点を示す」と評価され、いつしか「縄文の女神」の愛称で呼ばれて多くの人々から親しまれている。ここでは国宝の西ノ前土偶に代表される「西ノ前型土偶」の出自や系譜などをたどりながら、東北中・南部の山麓に展開した中期大木式期の土偶様相を概観すると共に、土偶から観察できる幾つの特徴から「縄文の女神の秘密」に迫ってみたい。（講師より）

※当館HPからの事前申込が必要です。

（定員25名程度。10月18日（火）～10月27日（木）の期間に、当館HPの申込フォームからお申込みください。申し込み多数の場合、抽選となります。抽選結果は11月2日（水）までお知らせします。）

お問い合わせ

山形県立博物館 プライム企画展担当
TEL: 023-645-1111

